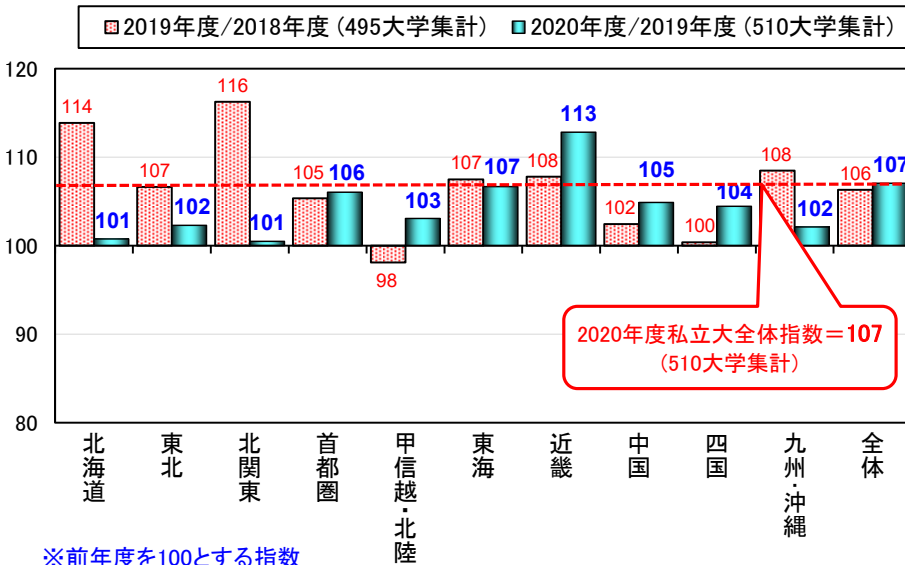


2020 年度入試状況分析【私立大】

◎地区別合格状況

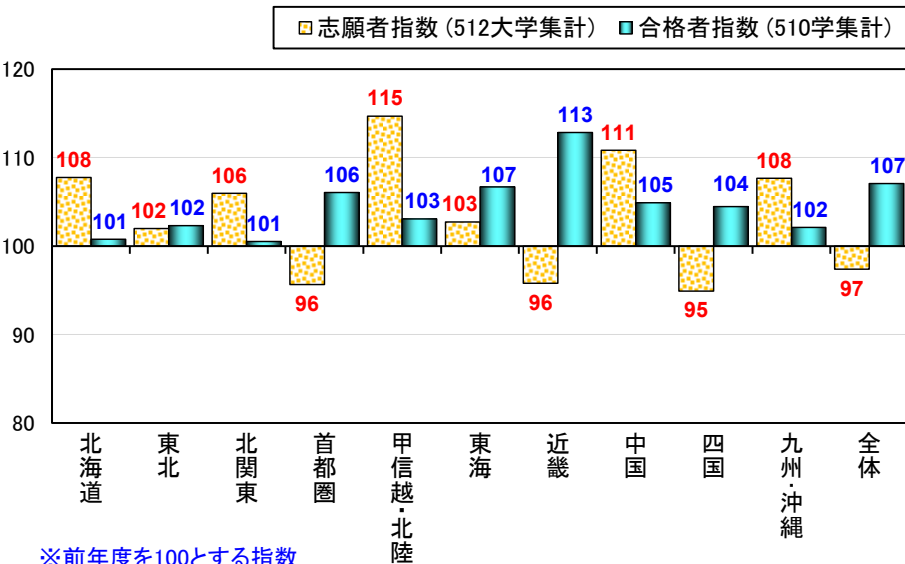
□合格者数は全地区で増加、特に近畿の競争緩和が目立つ

〔私立大一般選抜入試 地区別合格状況〕



※前年度を100とする指数

〔私立大一般選抜入試 地区別志願・合格状況〕



※前年度を100とする指数

大学の所在地別合格者数は、10地区全てで増加しました。なお、北海道は、前年度は私立大として募集を行った千歳科学技術大を前年度の集計から除くと、(103)のやや増加でした。

志願者数の増減率と比べると、北海道(101)、北関東(101)、甲信越・北陸(103)、中国(105)、九州・沖縄(102)と志願者数増加が目立った5地区は競争が厳しくなりました。

一方で、首都圏(106)、東海(107)、近畿(113)、四国(104)は競争が緩和しました。近畿は唯一10%を上回る増加率でした。これは、龍谷大、近畿大、摂南大、神戸学院大といった大規模な総合大学の合格者数が大幅増加したことが大きく影響しましたが、志願者数は約4%減少したことから、競争緩和が最も目立った地区となりました。